
個人投資家説明会

2009年8月22日



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ





本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2009年8月22日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2009年8月22日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- I . マネーパートナーズとFX取引
- II . 当社グループの収益構造と業績
- III . 当社グループの特徴と強み
- IV . 当社グループの経営戦略

参考資料

I . マネーパートナーズとFX取引



”外国為替証拠金取引(FX)”

取扱い業者に一定の「**証拠金**」を預けることで、

その証拠金を担保として、

実際の ~~預け入れ金額よりも大きな額~~ の、

~~外国為替取引(通貨の売買)~~

を行える金融商品のこと。

インターネットを利用した オンライン外国為替証拠金取引 専業の会社です





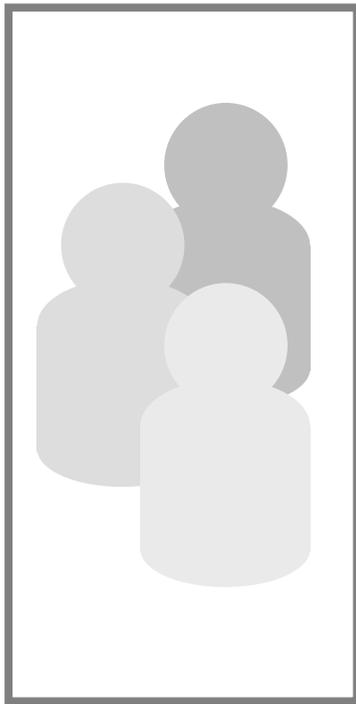
Money Partners Group

外国為替証拠金取引のしくみ

FX取引概要

一定金額の「証拠金」を預け、これを担保として預入金額より大きな額の外国為替取引を行う仕組み

顧客



証拠金
預け入れ

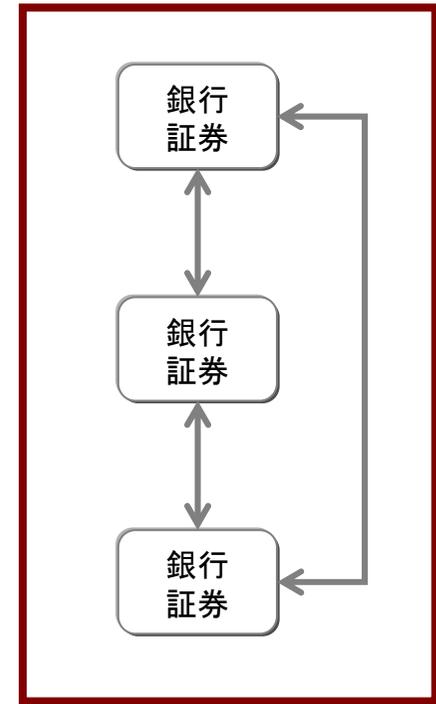
注文

FX取扱業者



外国為替取引

インターバンク市場





Money Partners Group

外国為替証拠金取引の特徴

FX取引の特徴

従来の投資商品である株式や債券などとは異なる特徴を持つデリバティブ商品

FX取引の6つの特徴

高い資金効率

レバレッジをかけることで
預け入れ金額よりも
大きな額の取引が可能

割安な取引コスト

取引手数料ゼロ
スプレッド2pips(米ドル/円)~

多様な収益機会

買いからも売りからも
取引スタートが可能

スワップポイント

インターバンクのスポットレートを
そのまま投資家に

24時間取引可能

世界共通の外国為替が
投資対象のため24時間取引可能で
取引の自由度が高い

少量からの注文可能

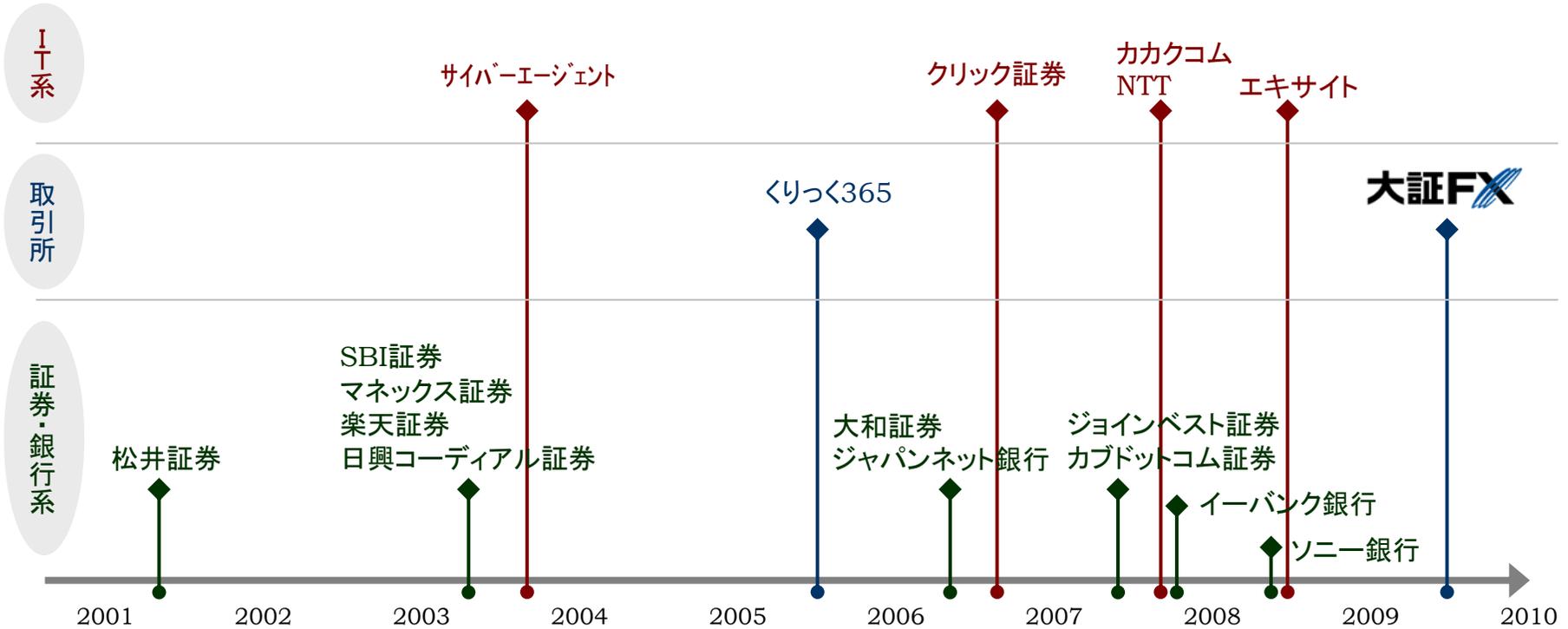
最小でインターバンクの
10,000分の1サイズ
からの取引が可能



Money Partners Group

外為証拠金取引を巡る市場環境

証券会社・IT系企業に加え、取引所もFXに参入



FXへの参入が加速

- ・大手証券、ネット証券など証券会社が続々参入。
- ・ネット銀行もFX参入へ。ソニー銀行は営業を開始し、住信SBIネット銀行も参入。
- ・大証も取引所取引としてFXビジネスを開始。(2009年7月大証FX開始)



FX業界を巡る昨今の状況

投資家によるFX業者の選別が強まり、2極化が更に進展

- 2008年には多くのFX業者に対して、業務停止命令などの行政処分
- 脆弱な財務基盤やずさんな顧客資産の管理によって一部の業者は破綻も
- システムトラブルが続発し、SECによってシステムへの問題点指摘
- 2009年には、金融庁がFX業者に対し信託保全やロスカットルールの義務づけを決定

財務状況・業務管理体制・資産保全体制などについて時代の流れを先取って対応



Money Partners

万全の信託
スキーム完備

日々、保全すべき顧客純資産を算出し、その100%以上を信託保全スキームにより区分保管

金融庁の
臨店検査をクリア

2006年10月には金融庁関東財務局ならびにSECによる臨店検査を終了。
2007年8月のサブプライムショックに関しても8月末に報告済み

リスク管理システム
の拡充へ注力

自動ロスカットに加え、アセットコントロール等の顧客自身によって決定可能なリスク管理システムを導入

基幹システムの
安定化を推進

ハードウェア・ソフトウェアの安定において負荷分散と負荷軽減に取り組み、顧客に万全の取引環境を提供。2つのデータセンターを運用し、FX業界最高レベルのシステムを構築

カウンターパーティ
リスクを極力排除

カウンターパーティの追加とともに安全管理を徹底し、万一、カウンターパーティが破綻しても顧客資産の安全性を確保(2008年9月リーマン破綻時も当社に影響なし)

当社の業務管理体制および顧客資産保全体制は健全であり、不安要素はなし

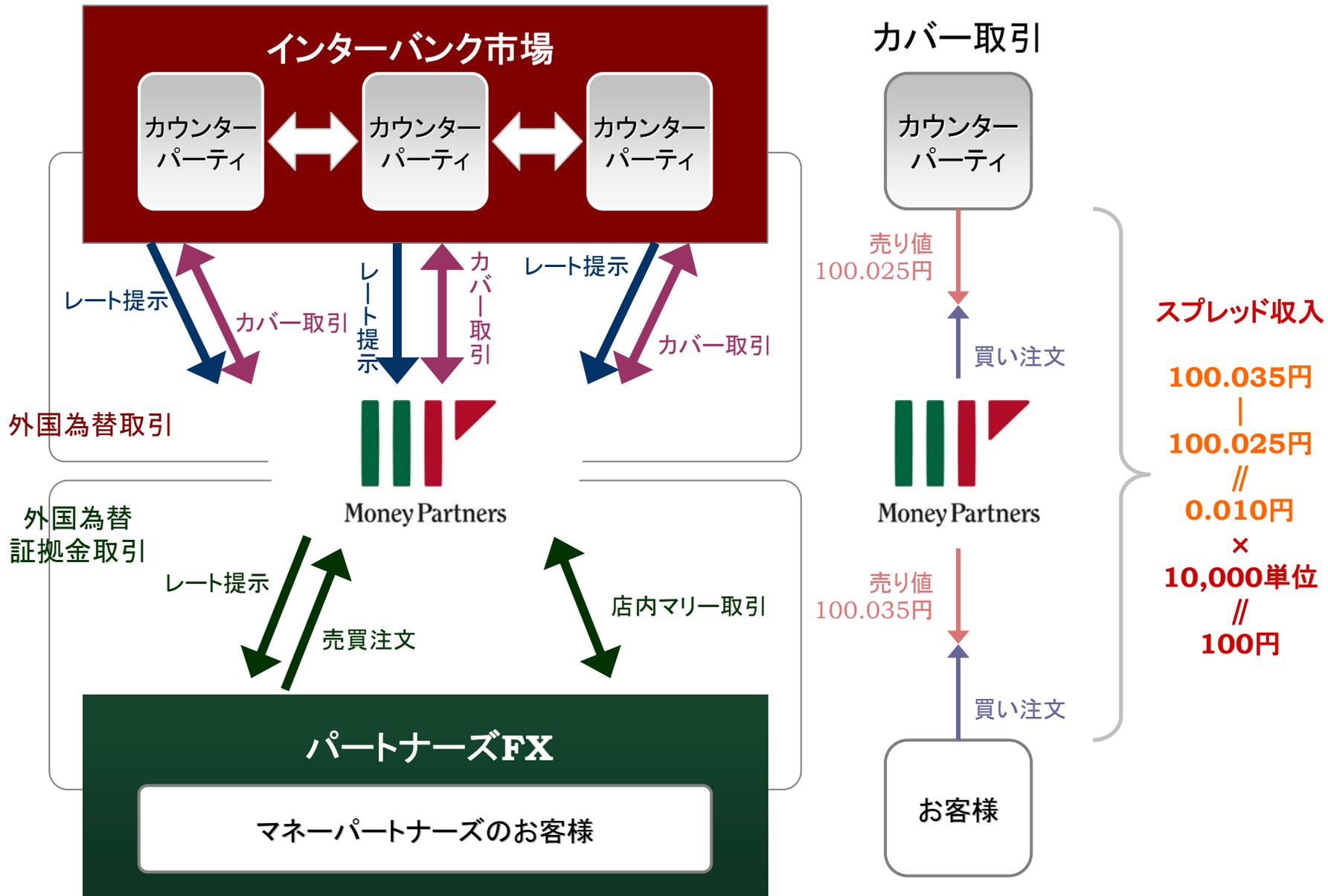
Ⅱ. 当社グループの収益構造と業績





Money Partners Group

マネーパートナーズの収益構造



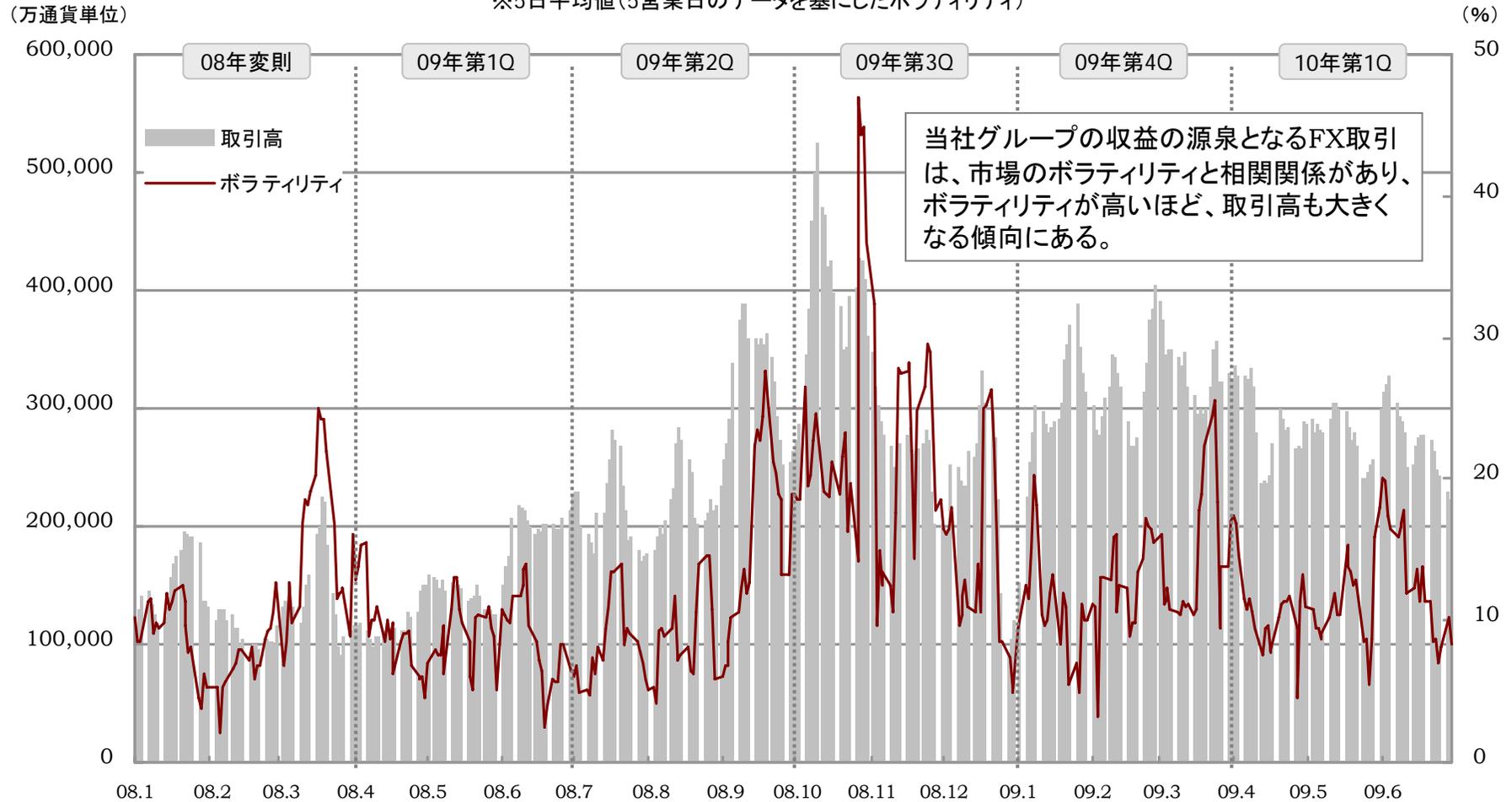


Money Partners Group

市場環境と外国為替取引高の関係

【取引高・ドル円ボラティリティの推移】

※5日平均値(5営業日のデータを基にしたボラティリティ)



リーマン破綻後の2008年10月をピークに、概ね10%~20%と低調に推移しているが、当社グループの取引高は新規顧客の増加や各種営業施策等により、堅調に推移

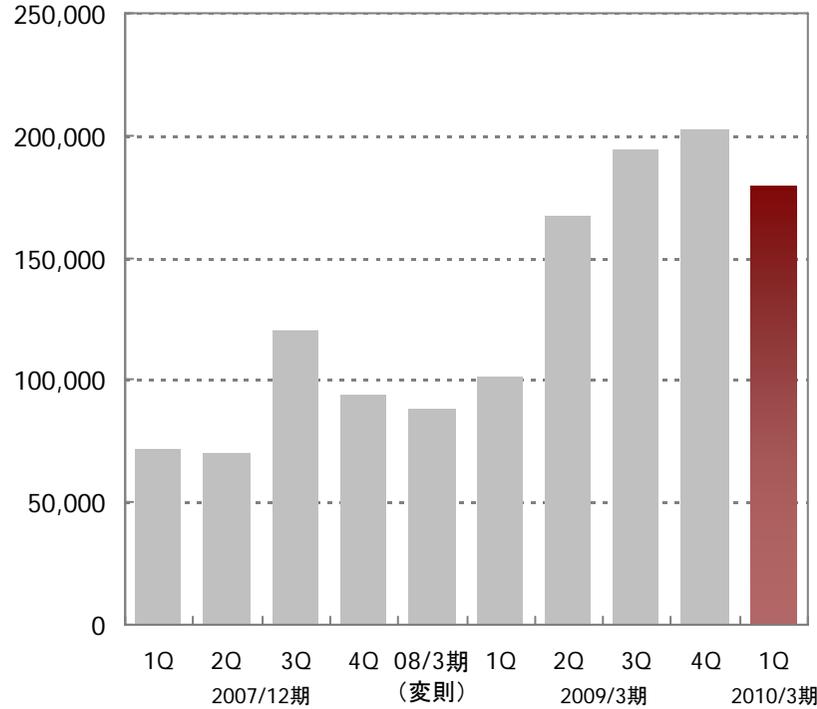


Money Partners Group

外国為替取引高と営業収益

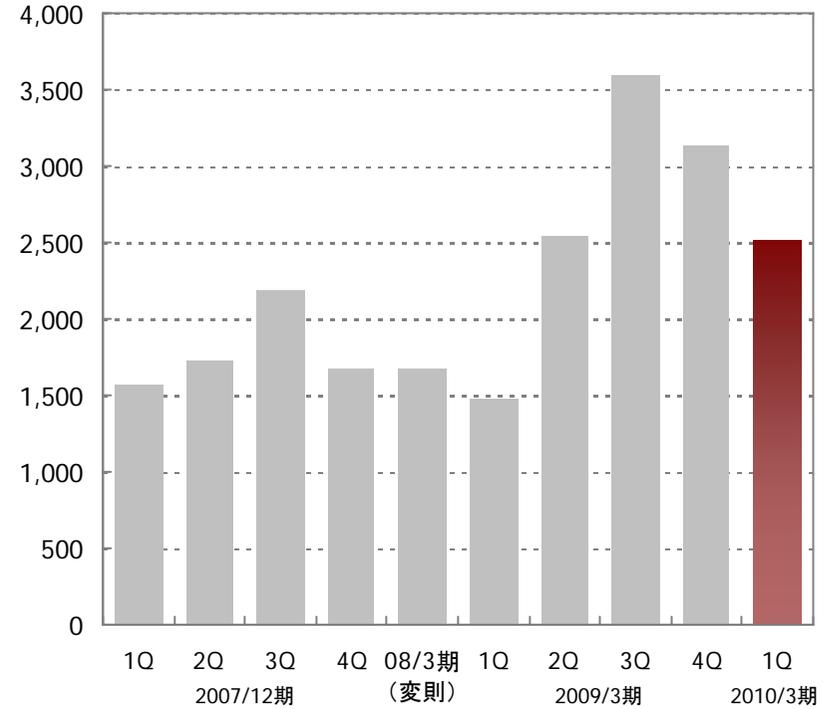
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益



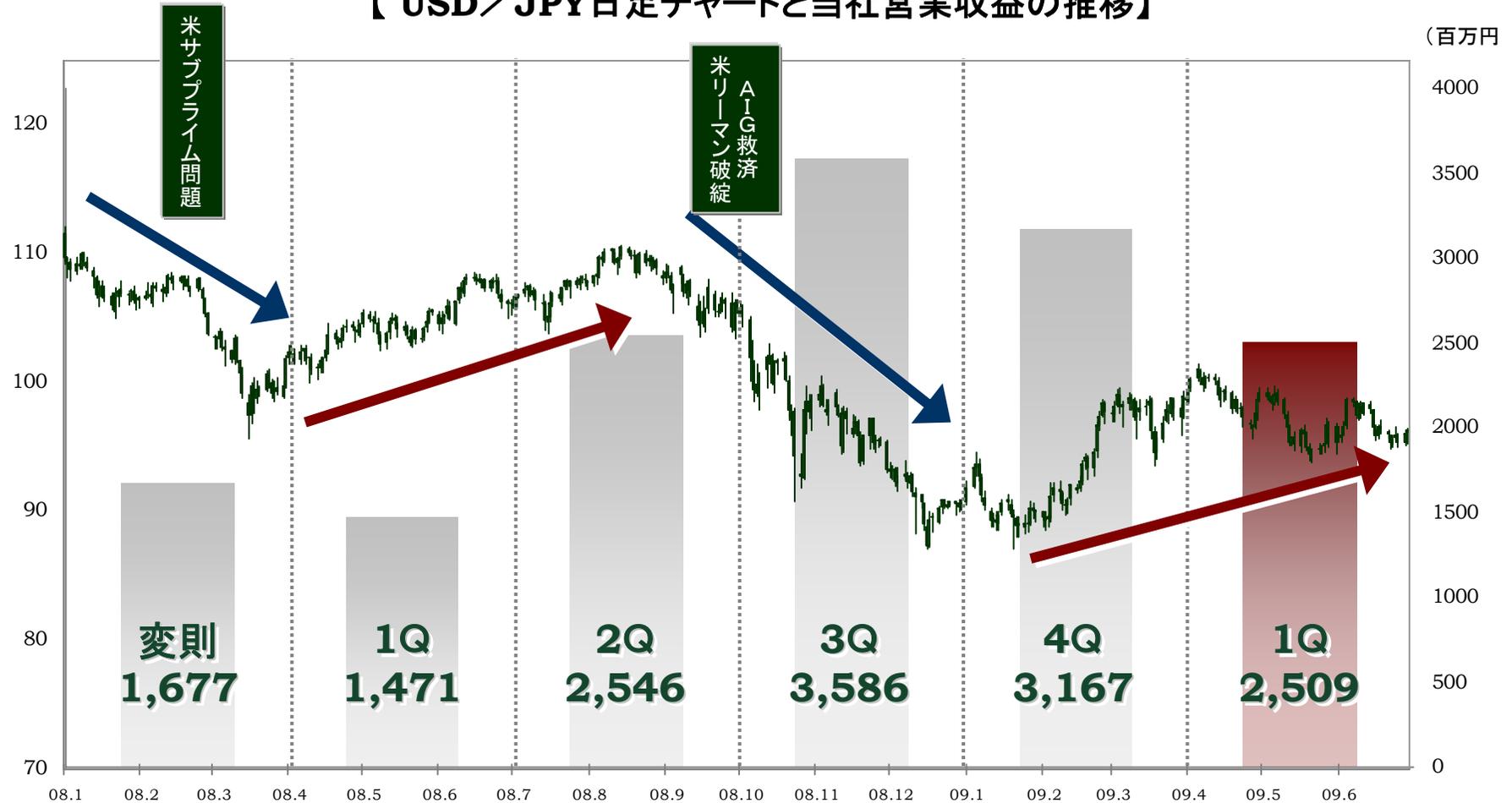
(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	07/12期 1Q	07/12期 2Q	07/12期 3Q	07/12期 4Q	08/3期 (変則決算)	09/3期 1Q	09/3期 2Q	09/3期 3Q	09/3期 4Q	10/3期 1Q
外国為替取引高	71,828	70,229	120,069	93,972	87,605	100,897	167,047	193,834	202,379	179,617
営業収益	1,568	1,723	2,186	1,665	1,677	1,471	2,546	3,586	3,167	2,509

当四半期は、主として低調なボラティリティにより、前四半期比で取引高は11.2%減、営業収益は20.8%減に

為替相場の当社グループ業績への影響

【 USD／JPY日足チャートと当社営業収益の推移】



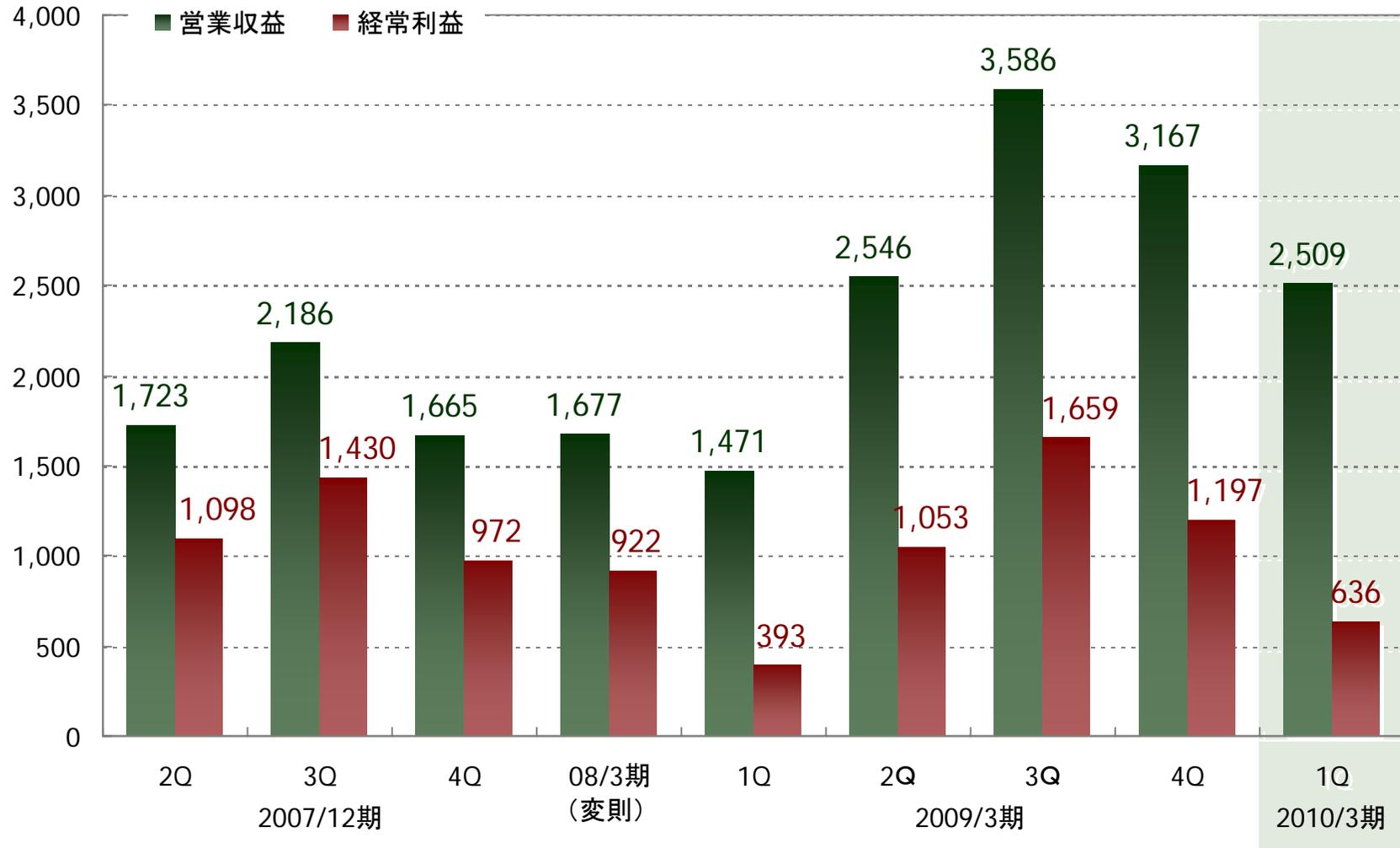
値動きの激しかった2009年3月期下半期に比べ、当第1四半期は緩やかな円安傾向で推移
そのためボラティリティは低調となり、取引高および収益は値動きに影響を受けた形となった



当社グループの業績推移

当社業績の推移

(単位:百万円)



当社グループの口座数推移

取引口座の推移



継続的なキャンペーン施策の効果により、開設口座数合計が10万口座を突破

Ⅲ. 当社グループの特徴と強み



顧客満足を第一に考えたシステム・商品性・ツール

- ✓ 初心者層でも直感的にFXの醍醐味を経験可能な新商品「FX nano」を投入
- ✓ 顧客の資産管理をサポートする新リスク管理システムの導入
(3重のリスク管理によるリスクを限定した取引)
- ✓ リッチクライアント型トレードシステム「Hyper Speed」
利便性向上のためのバージョンアップ
- ✓ モバイル取引への対応「Hyper Speedモバイル」
※当社取引高に占める割合 ウェブ35%、アプリ45%、モバイル20%

ユーザビリティを
第一に考えた
システム&ツール開発



FX業界における
トップクラスの
システムインフラ

顧客重視の姿勢から
生み出される
高い商品性

- ✓ ネット証券水準のデータベースサーバ・アプリケーションサーバ、Webサーバを保有
- ✓ 第1、第2データセンターにてBCP(事業継続計画)、DR(ディザスタリカバリ)の要件にも対応
- ✓ 安定性・信頼性を最も重視したシステム投資
- ✓ ドル/円をはじめとするスプレッドのナロー化
- ✓ ディーラブルプライス(約定可能価格)でのレート提示
- ✓ 全通貨ペアのスワップスプレッドのナロー化

◆『パートナーズ FX nano』及び『XFX』リリースによる顧客層の拡大

PartnersFX nano

- 最小取引単位は**100通貨単位**から。
建玉必要証拠金は**100円**から。

～少額から実感のあるトレードが可能。
デモトレードにはないリアルな体験が得られる
- 取引手数料も口座管理費も**無料**。

～ミニ株などの手数料が割高になる小規模取引と異なり、
手数料無料を維持。「初心者に優しいFX」を実現
- ポジションは日毎に決済。スワップポイントにとらわれない
取引が可能
- 取扱い通貨ペアは主要クロス円通貨ペアの**8通貨ペア**
(USD/JPY、AUD/JPY、EUR/JPY、他)



FXへの無関心層、逡巡層、回避層へもリーチしうる商品性により、個人投資家層の拡大を図る



ユーザビリティを第一に考えた初心者向けサービスの提供

◆『パートナーズ FX nano』及び『XFX』リリースによる顧客層の拡大

【従来サービス(パートナーズFX)との比較】

	PartnersFX	PartnersFX nano
取引通貨ペア	10	8
最商取引単位	10,000通貨単位	100通貨単位
最低必要証拠金	USD/JPYの場合 スタンダード:20,000円 ハイレバ:10,000円 (ZAR/JPYは スタンダード:10,000円 ハイレバ:5,000円)	USD/JPYの場合 200円 (ZAR/JPYは100円)
呼値(表示桁数)	0.001円(小数点以下3桁)	0.01円(小数点以下2桁)
通常時スプレッド	USD/JPY : 2~ CAD/JPY : 8~ EUR/JPY : 4~ GBP/JPY : 8~ AUD/JPY : 3~ CHF/JPY : 8~ NZD/JPY : 8~ ZAR/JPY : 3.8~ EUR/USD : 4~ GBP/USD : 7~	USD/JPY : 6~ CAD/JPY : 10~ EUR/JPY : 6~ GBP/JPY : 10~ AUD/JPY : 8~ CHF/JPY : 10~ NZD/JPY : 10~ ZAR/JPY : 8~
手数料	0円	0円
取引期限	定めない (無期限ロールオーバー)	1営業日内 (NYクローズ時に終値にて自動反対売買[引成決済])
スワップ	通常ロールオーバー毎に発生	発生しない
注文方法	ストリーミング、指値、If Done etc... ※ASは希望者のみ	ASストリーミングのみ
取引ツール	WEBおよびWEBモバイル ハイパースピードおよびハイスピモバイル	WEB XFX

パートナーズFXと比較し、初心者向けの商品性とすることで、顧客層の拡大を図る

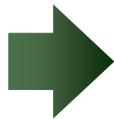


Money Partners Group

FX業界におけるトップクラスの安全性と信頼性を実現

商品性に加え、安全性・信頼性がFX会社選びの重要ポイントに

■ 取引手数料の無料化、高レバレッジ・低スプレッド化が進み、商品性競争は頭打ちの状況へ



完全信託保全の有無や接続カウンターパーティ数の多さなどの安全性および、相場急変時のシステム安定稼働などの信頼性へと顧客の視点がシフト

顧客資産の安全性 + システムの信頼性

【信託保全スキーム】



SG信託銀行

顧客預り証拠金の
完全信託を導入済み

【カウンターパーティ】

JPモルガン・ チェース銀行	ロイヤルバンク・ オブ・スコットランド
ユービーエス・ エイ・ジー銀行	ドイツ銀行
パークレイズ銀行	バンク・オブ・アメリカ・ エヌ・エイ
シティバンク エヌ・エイ	ゴールドマン・サックス 証券
ドレスナー・ クラインオート証券	

9つの金融機関との取引で
万一のCP破綻リスクを回避

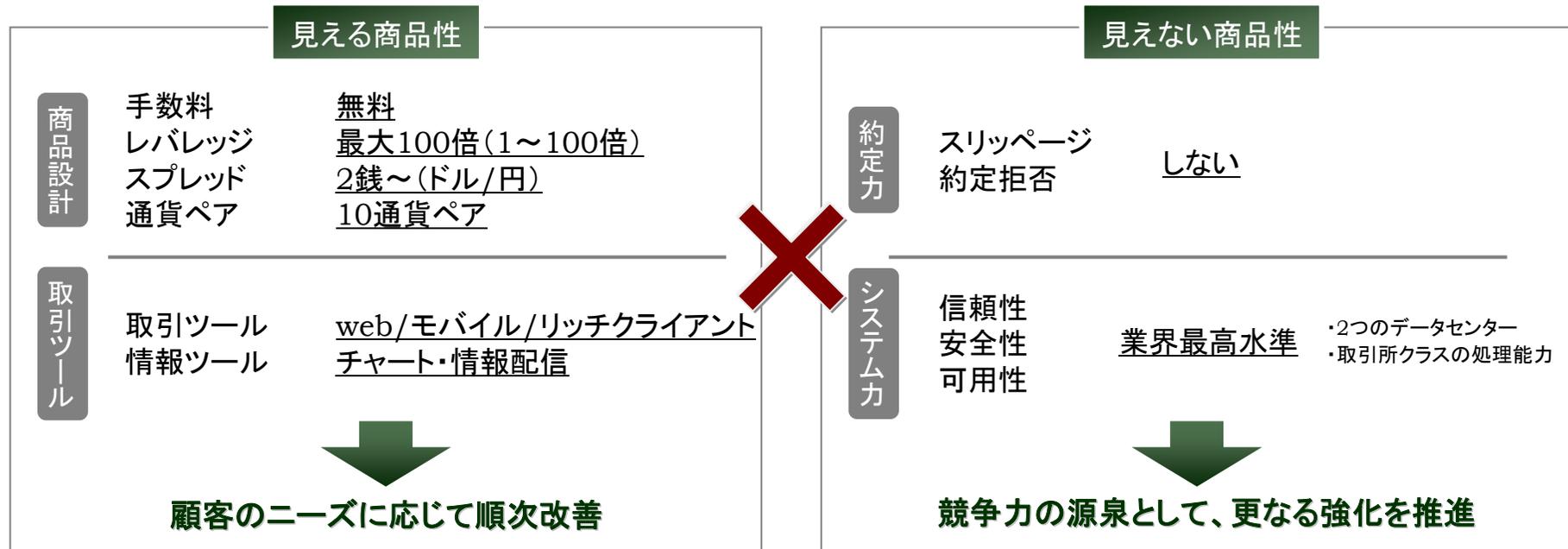


- ✓ いつでもつながるシステム
- ✓ 常に止まらないシステム
- ✓ 確実に約定できるシステム

金融危機のさなか、顧客資産の安全性とシステムの信頼性が重要視される傾向に

顧客重視の視点から商品性と約定力を強化・向上

■顧客に提示したレートで必ず約定する「ディーラブルプライス」の提示をさらに強化



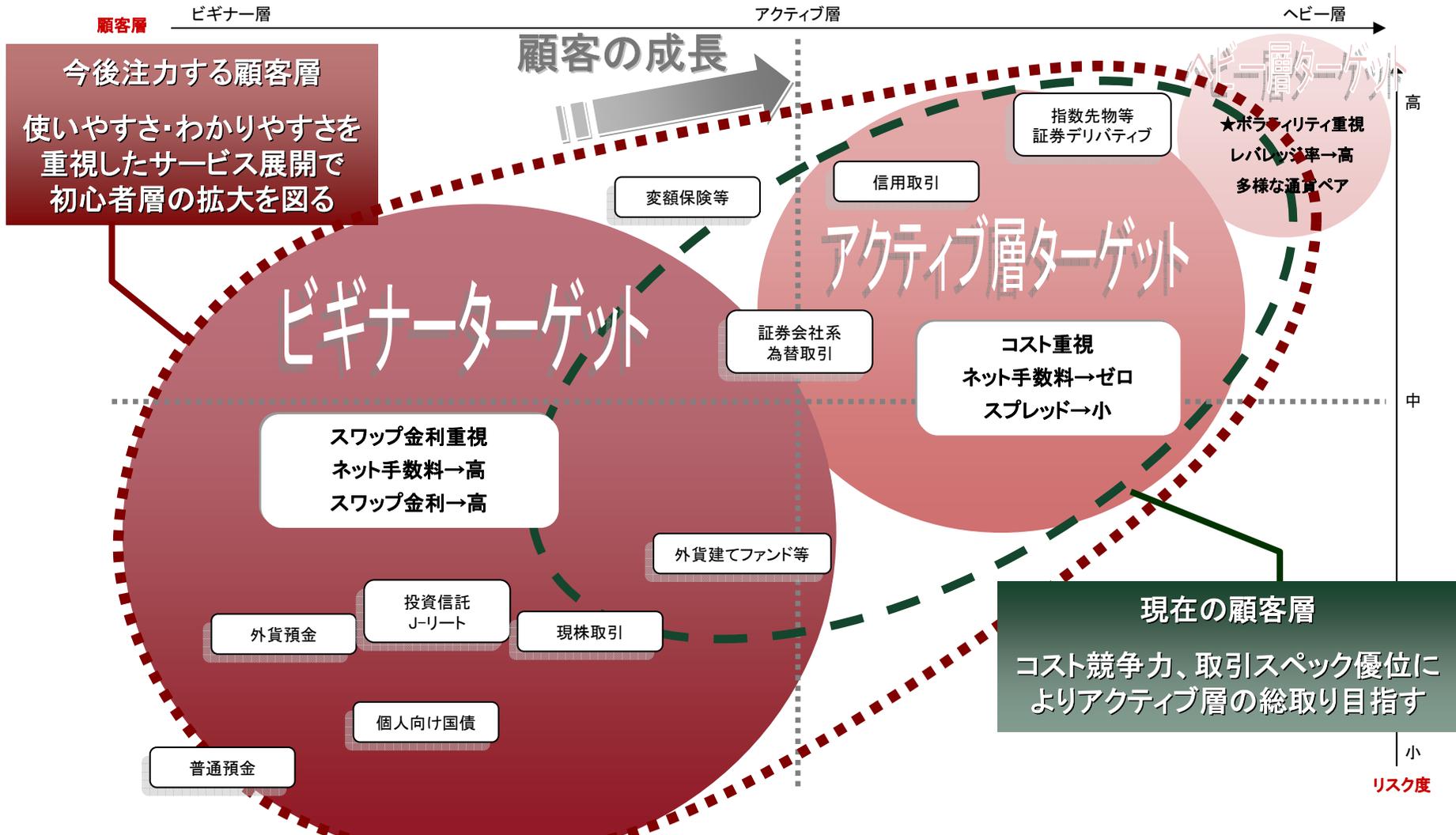
見た目のスペック以上に顧客の「安心」を重視

「約定力のマネパ」というイメージを定着させ、さらに強化する



Money Partners Group

アクティブユーザーをコアにした顧客基盤



最も収益化しやすいデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取込・定着化に成功
 ビギナー層 ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を戦略的に展開



Money Partners Group

グループを通じたシステムの内製化

コアテクノロジーをすべて自社所有



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ

100%
子会社



Money Partners Solutions

株式会社 マネーパートナーズソリューションズ

■設立 2006年9月15日

■代表者 小西 啓太

システム内製化による優位性

全社戦略に則った
計画的・機動的な
システム設計・開発

独自の保守
運営による
コスト削減効果

ITのスペシャリスト
の確保が容易

システム自社開発、
所有によるBtoB
ビジネス展開(※)

(※)システムの権利・販売権を全て保有しているため、他金融法人との提携が行いやすい

IV. 当社グループの経営戦略

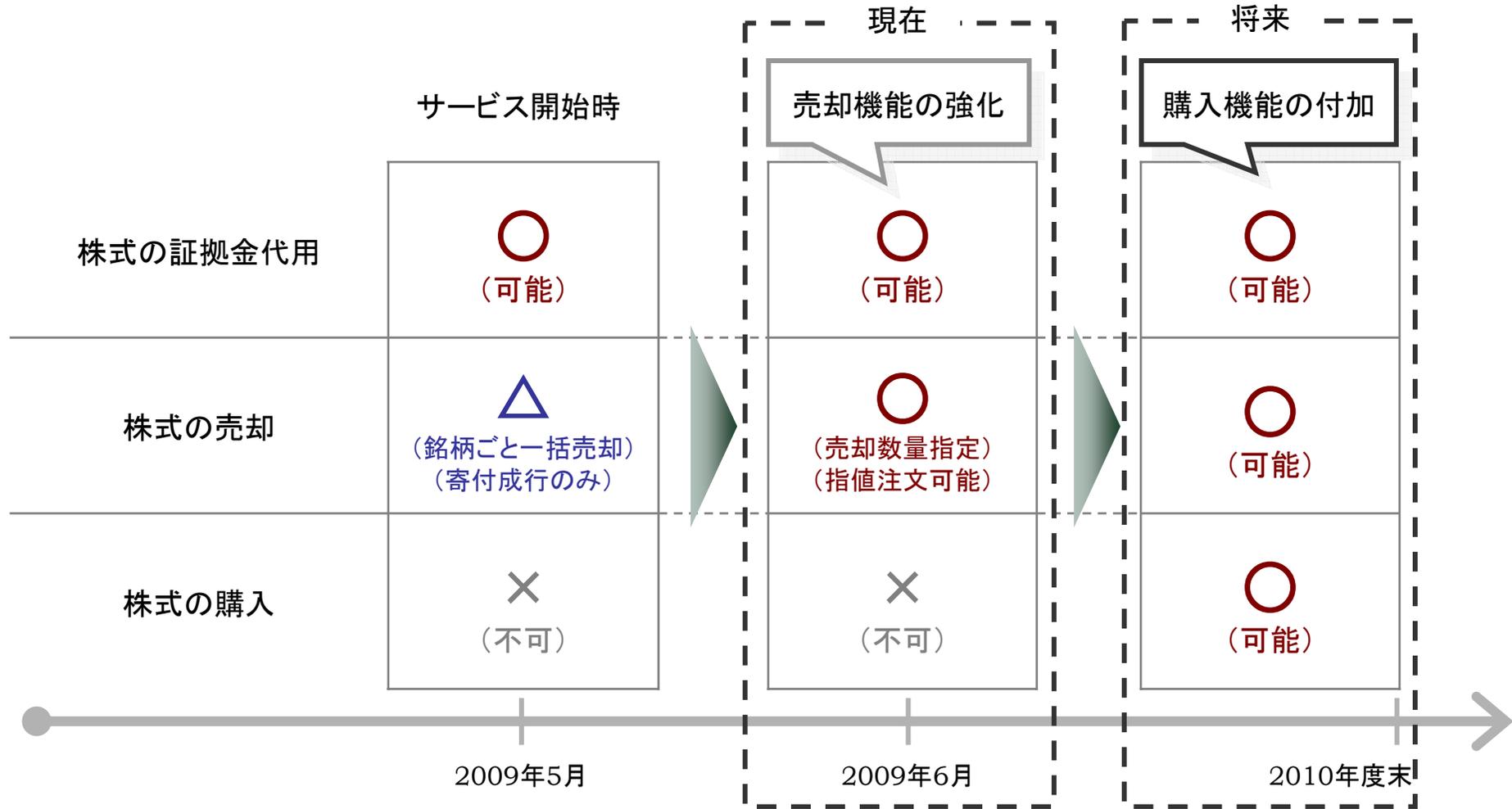




Money Partners Group

代用有価証券サービスの利便性向上

■ 代用有価証券サービスの機能強化により顧客の利便性を向上



年度内に株式決済のフルネット化を実現し、当社FXサービスの利便性向上を図る



Money Partners Group

FXビジネスBtoB展開の促進

■ 様々な形でのFXビジネスBtoB展開を模索



当社グループの持つ経営資源を有効活用し、FX業界でのシェア拡大を図る



Money Partners Group

顧客基盤の拡大とブランド価値向上

- DSソフト『マネパ1000万人のFXトレーニング』と口座開設を組み合わせたマーケティング



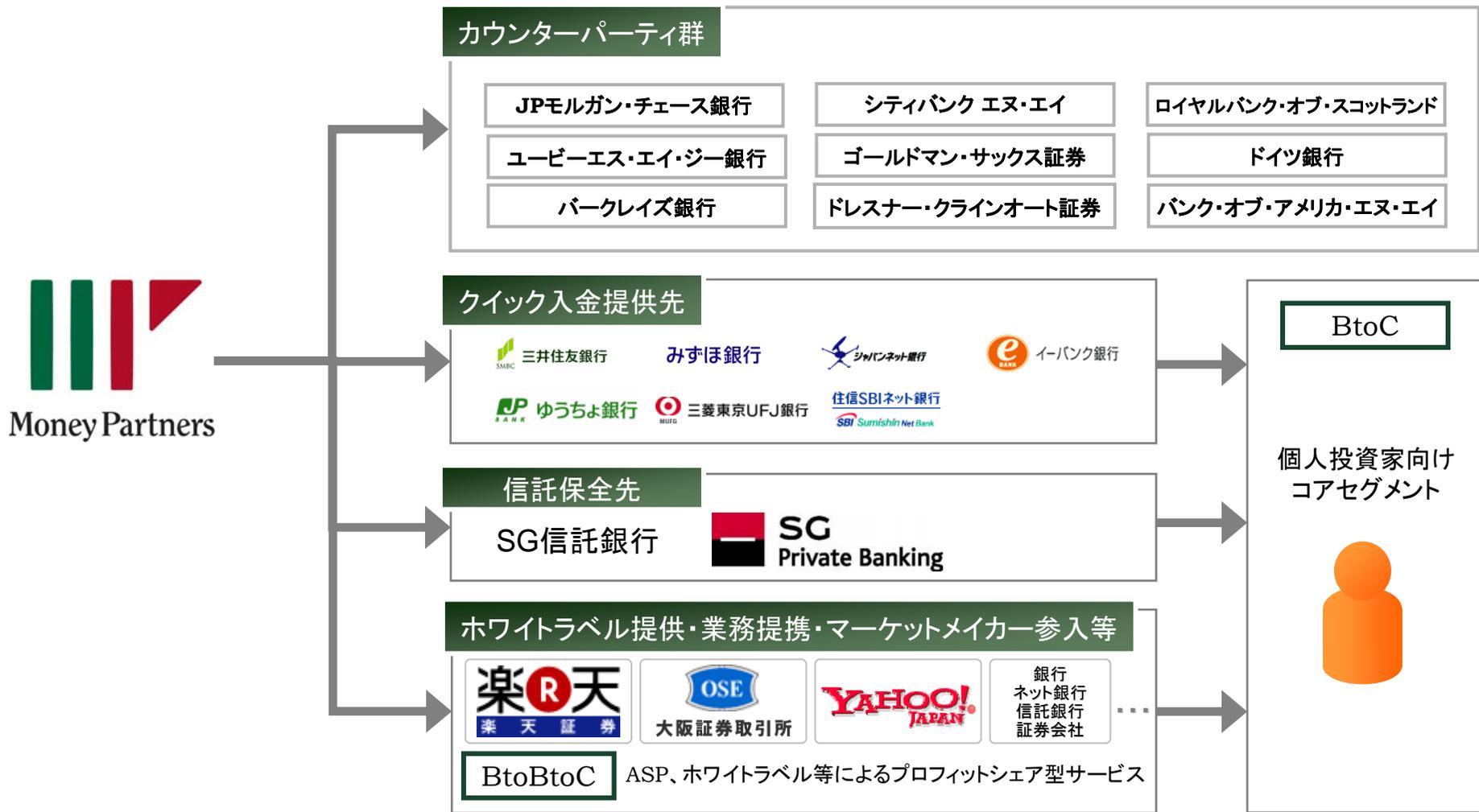
パートナーズFXnanoとDSソフトの組み合わせによるビギナー層向けマーケティングを強化



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～ビジネスパートナーの拡大

■ カウンターパーティやBtoBのビジネスパートナーを拡大



コーポレートアライアンスの拡大によりビジネスシナジーを強化



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～ビジネスと顧客基盤の強化・拡大

- FXビジネスの縦(新商品開発)及び横(ASP)展開による収益基盤の拡大
- 初心者層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- OTCの特性を活かした新ビジネスの展開



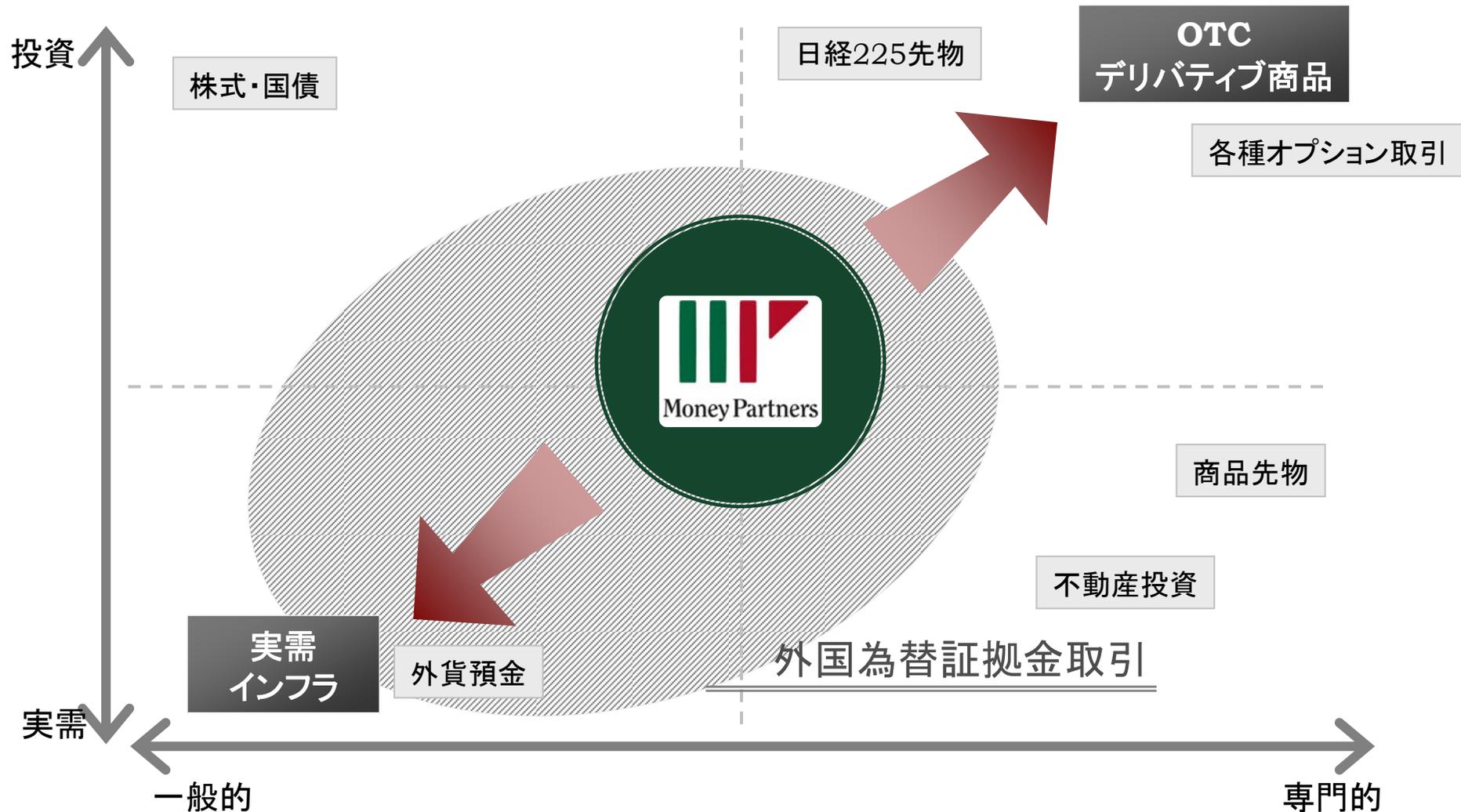
顧客基盤と収益力をさらに強化し、ビジネスの拡大を図る



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～目指すべきポジション

- 外国為替における実需インフラを目指す
- 新たなOTCデリバティブ商品の模索による収益源の創出を目指す





株主還元について

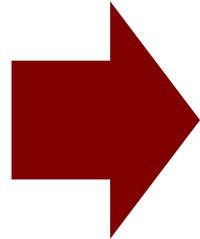
Money Partners Group

利益配分に関する基本方針を変更し、利益還元の充実を決定

旧利益還元方針(2008/3期まで)

配当性向: 連結当期純利益の25%を目処

配当機会: 期末のみ(年1回)



新利益還元方針(2009/3期以降)

配当性向: 連結当期純利益の30%を目処

配当機会: 中間および期末(年2回)

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2008年 3月期 <small>(変則決算: 3ヶ月)</small>	2009年3月期				2010年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	585	287	663	1,024	826	403			
配当金の総額 (百万円)	146	848							
期末発行済 株式総数(株)	317,760	320,040(内、自己株式5,623)							
1株当たり 配当金	460円	2,700円							

※1 1株当たり配当金を比較可能とするため、2008年1月1日の株式分割(3分割)が2007年12月期期首に行われたと仮定して算出しております。

※2 株式分割前1株当たり配当金=2,851百万円(連結当期純利益)×25%÷105,830株(期末発行済株式数)= 6,700円

株式分割後1株当たり配当金=6,700円÷3= 2,233円 (2008年1月1日に株式分割(3分割)をしており、上記配当実績は株式分割後の1株当たり配当金額になります。)

個人投資家説明会

2009年8月22日



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ



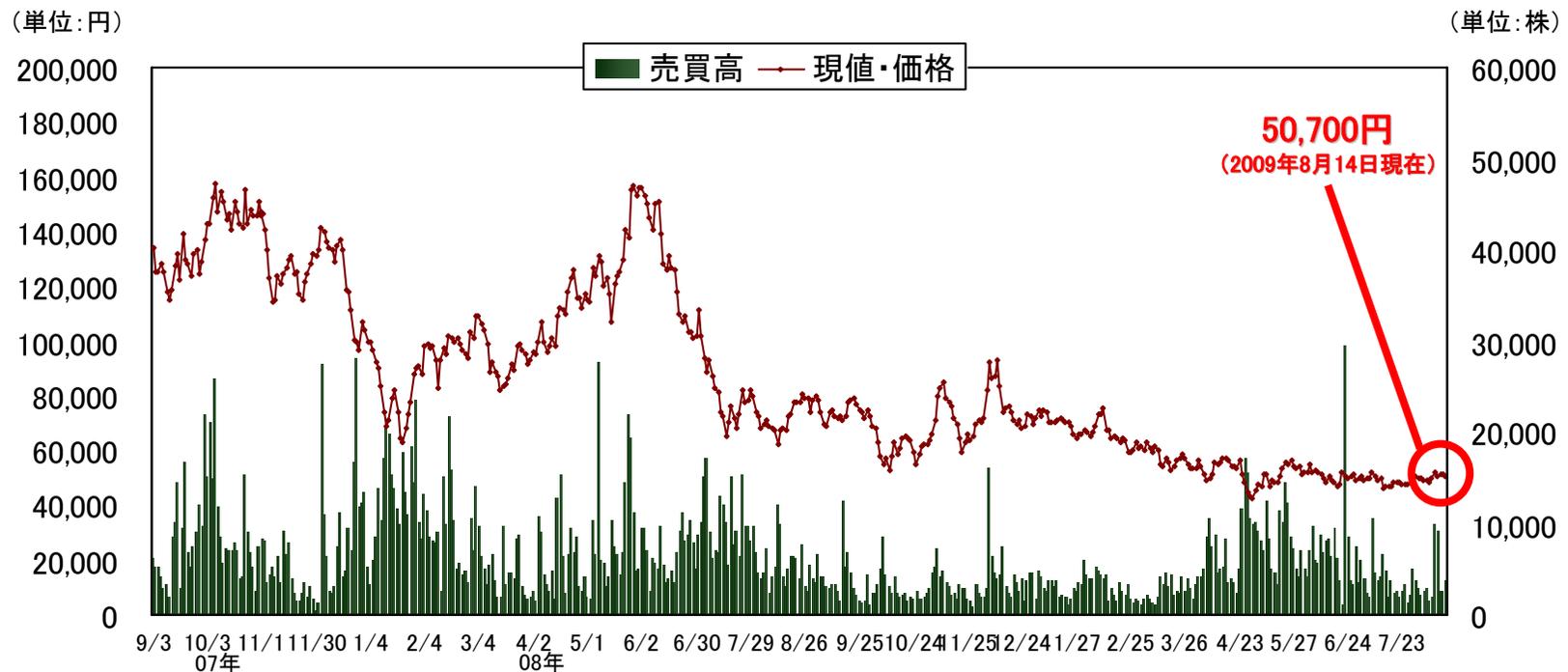
参考資料



株式概要・株価チャート
当社グループの概要と沿革について
マネーパートナーズの収益構造、通貨ペアと売買高比率について
四半期業績の推移

株式概要・株価チャート

証券コード	:	8732
上場市場	:	大阪証券取引所ヘラクレス
上場日	:	2007年6月21日
株式の売買単位	:	1株
発行済株式総数	:	320,040株(2009年3月31日現在)





Money Partners Group

グループ概要(平成21年3月31日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億68百万円 (2009年3月31日現在)

- 主な事業内容 持株会社

■ 関連会社

株式会社マネーパートナーズ

加入協会: 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会

登録番号: 関東財務局長(金商)第2028号

事業内容: 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務

2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務

3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容: 1. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守

2. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究およびコンサルティング



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス



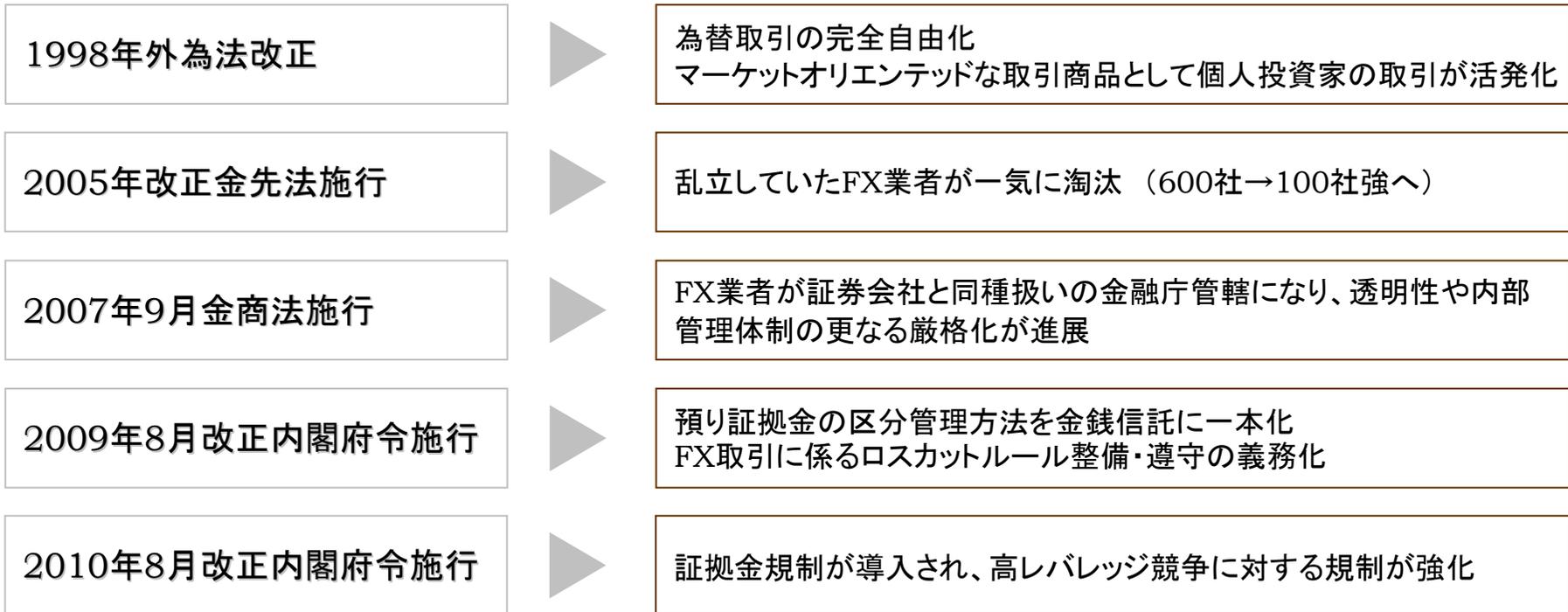
グループ沿革

年月		事項
平成17年6月	新設分割	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	□ インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプルクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	□ 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	□ 金融先物取引業登録(登録番号:関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 □ 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	□ エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ25倍→50倍	□ インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	□ 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	□ レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 □ モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	□ CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 □ 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク取得	□ 「プライバシーマーク」認定取得
平成19年6月	上場	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年9月	第一種金融商品取引業登録	□ 金融商品取引法施行に伴い第一金融商品取引業者として登録
平成20年3月	金融商品取引業の変更登録完了	□ 有価証券の取扱い業務開始
平成20年4月	格付取得	□ 株式会社日本格付研究所(JCR)より新規に格付を取得(短期優先債務:J-3)
平成20年6月	提示レート・小数点以下 3ケタ対応開始	□ 全ての対円通貨ペアの提示レート・小数点以下3ケタ対応開始
平成20年10月	持株会社化	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社(10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更)に承継し持株会社体制へ移行
平成21年6月	10万口座達成・DSソフト発売	□ 顧客口座数10万口座達成 □ ニンテンドーDSソフト FXシミュレーションゲーム『マネパ1000万人のFXトレーニング』を発売
平成21年7月	テレビCM開始・大証FX参加	□ ブランド認知度向上を目的として、マネーパートナーズとして初のテレビCMを展開 □ 「大証FX」へマーケットメイカーとして参加



外国為替証拠金取引の歴史

【外国為替証拠金取引に関わる法改正や規制強化と、業界およびマーケットの動き】

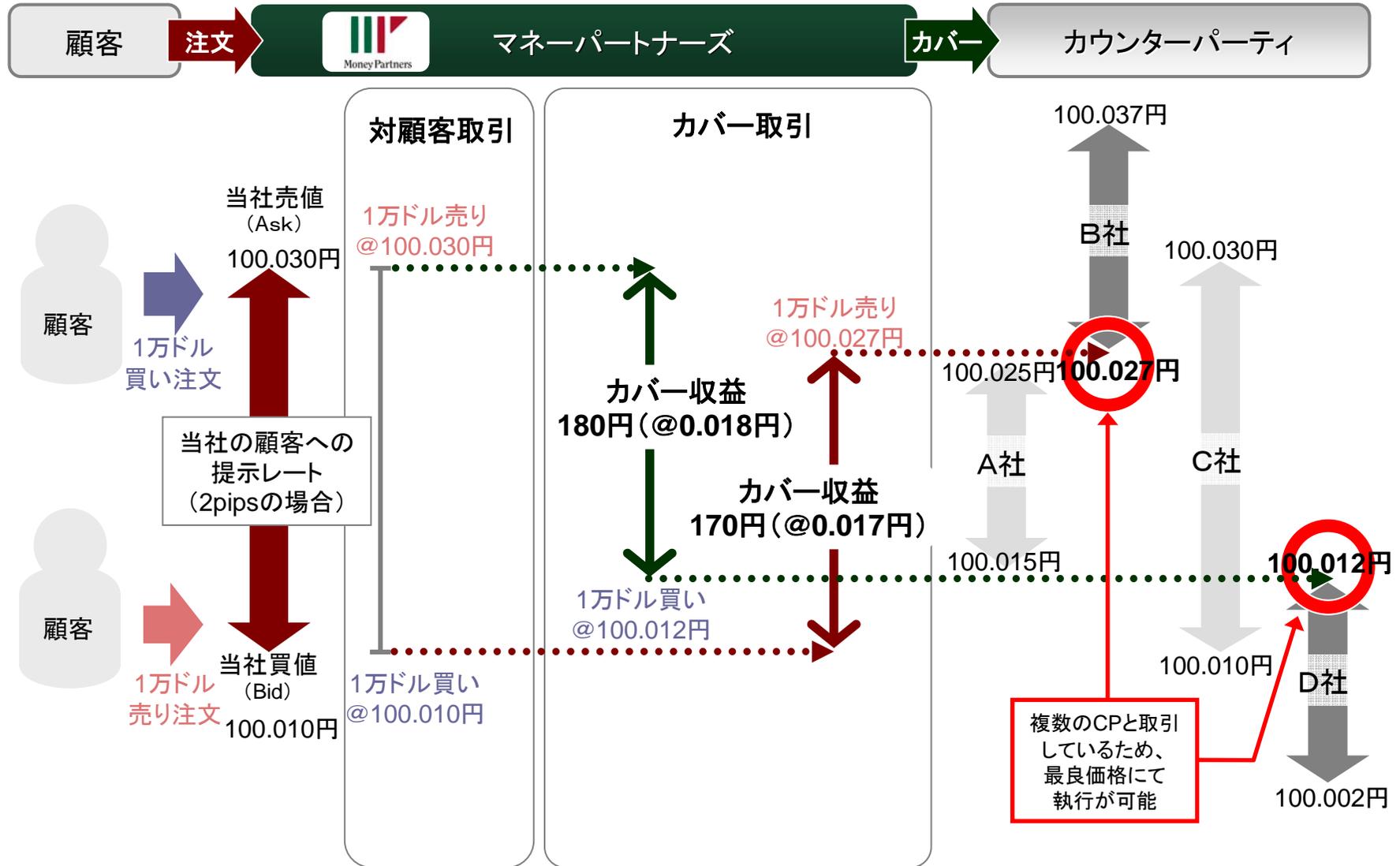


激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
マネーパートナーズはFX専業・ネット専業大手企業としてのポジションを獲得



Money Partners Group

マネーパートナーズの収益構造





Money Partners Group

マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10,000分の1となる100単位での取引を実現。

当社取扱い通貨ペア



USDJPY
米ドル円



AUDJPY
豪ドル円



EURJPY
ユーロ円



NZDJPY
NZドル円



GBPJPY
英ポンド円



ZARJPY
南アランド円



CADJPY
カナダドル円



CHFJPY
スイスフラン円

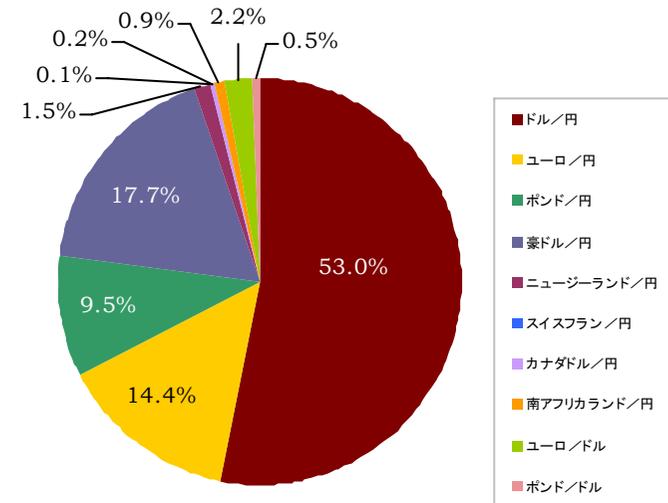


EURUSD
ユーロ米ドル



GBPUSD
英ポンド米ドル

下記グラフは当社の2009年4月-6月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。



今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やす予定



四半期業績推移

Money Partners Group

◆四半期業績推移(※2007年12月期及び2008年3月期は、旧経理基準の財務数値を組み替えて表示しております。)

単位:百万円

	2007/12期		2008/3期	2009/3期				2010/3期	前四半期 対比増減
	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	2,186	1,665	1,677	1,471	2,546	3,586	3,167	2,509	-20.8%
受入手数料	1	0	1	1	0	1	0	0	-6.6%
トレーディング損益	2,158	1,640	1,649	1,445	2,511	3,570	3,096	2,480	-19.9%
金融収益	26	24	27	24	30	12	7	3	-47.4%
その他の売上高	-	-	-	1	3	2	63	24	-60.9%
金融費用	0	0	0	0	0	0	0	0	-3.6%
売上原価							39	17	-55.3%
純営業収益	2,186	1,664	1,677	1,470	2,545	3,585	3,126	2,490	-20.3%
販売費・一般管理費	726	689	754	1,076	1,468	1,924	1,926	1,856	-3.7%
営業利益	1,459	976	922	393	1,076	1,661	1,200	634	-47.1%
経常利益	1,430	972	922	393	1,053	1,659	1,197	636	-46.9%
税金等調整前四半期純利益	1,430	927	922	392	1,046	1,659	1,195	636	-46.7%
四半期純利益	880	594	585	287	663	1,024	826	403	-51.2%
営業収益経常利益率	65.5%	58.4%	55.0%	26.9%	41.4%	46.3%	37.8%	25.4%	

- 2010/3期第1Qは、低調なボラティリティや市場要因等による取引高の減少に加え、顧客へのサービス向上及び競争力確保のためのスプレッド縮小等により、対前四半期では減収減益となった
- 販売費・一般管理費は、取引高に連動する変動費減等により、前四半期比で若干の減少となった

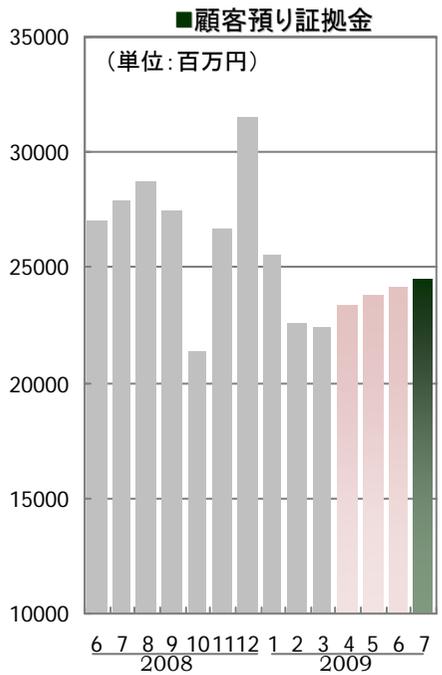
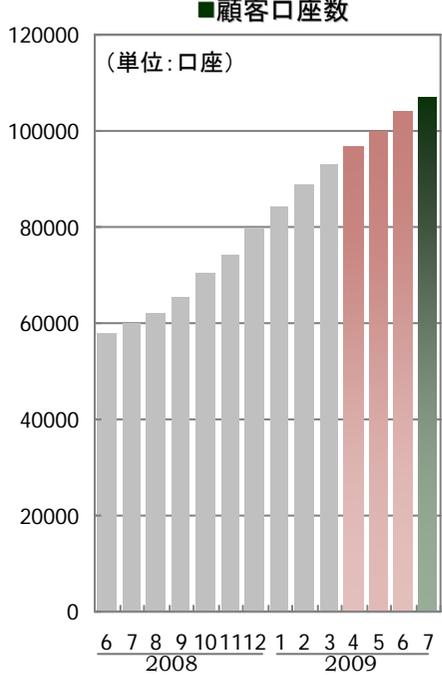
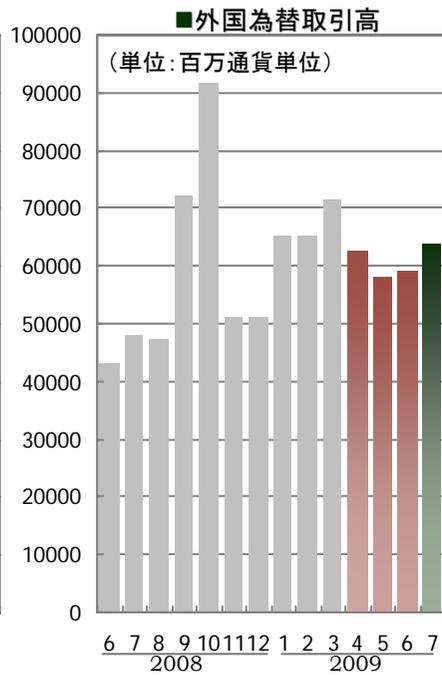
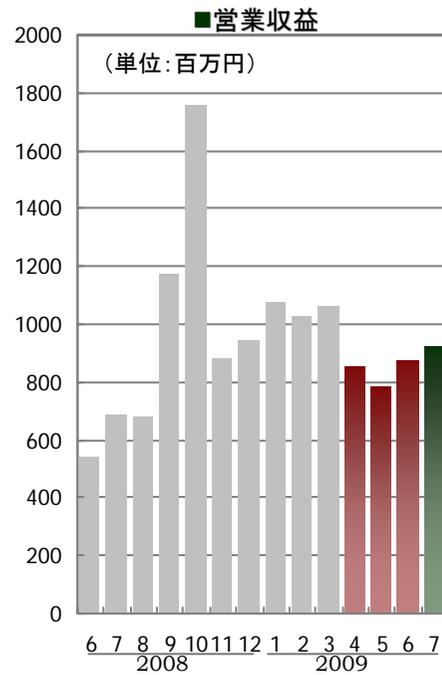


業績指標推移

Money Partners Group

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
営業収益(百万円)	544	690	682	1,173	1,756	885	945	1,073	1,029	1,024	851	782	874	923
取引高(百万通貨単位)	43,143	47,888	47,080	72,079	91,750	50,920	51,162	65,379	65,376	71,623	62,545	57,906	59,165	63,775
顧客口座数(口座)	57,858	60,183	62,190	65,463	70,603	74,337	79,569	84,100	88,675	92,763	96,660	99,811	104,065	107,250
顧客預り証拠金(百万円)	27,004	27,953	28,739	27,463	21,324	26,729	31,478	25,519	22,605	22,453	23,369	23,798	24,198	24,511

※営業収益、取引高、顧客預り証拠金につきましては、ホワイトラベル提供先の数値も含んでおります。またホワイトラベルによるトレーディング収益は当社の営業収益として全額計上した上で、当社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき手数料を販売費・一般管理費に計上する方法をとっております



顧客基盤拡大策や商品性・サービスの向上により、顧客口座数、預り証拠金は着実に拡大



取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から4万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

パートナーズFXnanoは、取引通貨の価格の変動により、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引はインターネットを通じてのみ可能で、取引手数料は新規・決済共に無料です。取引に必要な証拠金は100通貨単位あたり100円から400円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、約定代金の1.05%の手数料(最低手数料は525円、消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会

個人投資家説明会

2009年8月22日



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ

